科目名 Subject	美容技術理論Ⅲ Hairstyling TheoryⅢ		教員名	富田　知子	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	講義	時間	30
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	△	△
科目の概要	現代社会において美容に求められるこは多様化している。しかしながら、造形要素としての美容デザインの持つ効果は普遍的なものである。美容施術をする際、対象者の条件を読み取る力が必要であり、美容デザインの構成要素が美容施術に及ぼす効果を学ぶことは有効である。本授業では、デザインの構成要素である、線、面などのイメージが顔に及ぼす影響学ぶ。またデザイン要素を理解するために、美容デッサンという手法を用い、その理解を深めるように学習する。				
授業の目標	本授業では、理論による美容デザインの成り立ちを学び、美容デッサンをすることで、実際の美容に行かせる、顔とヘアスタイルの関係性、顔のパーツが作り出すイメージと個性を見出すことができるようになる。				
時間外学習 （予習・復習）	各回の授業の理解を深めるよう、学んだ事項を実際のヘアスタイルなどと照らし合わせる。授業計画に必要な準備は必ずおこなう。約60分～90分行う。				
教科書・教材	教科書	日本理容美容教育センター教科書			
	教材	資料の配布　　デッサン用デザインボード			
	使用設備・備品	画材			
	参考文献	図書館美容雑誌　他随時提示			
評価方法	各回の授業で配布した資料の提出と作品の提出。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	作品が計画通り進むように、取り組む。				
本科目履修と関連する資格	資格名	美容師国家資格			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	授業内容ガイダンス	授業の目的を理解し、各回の到達点について理解する	自身が思う線的要素が強い美容写真作品を用意する
第２回	美容造形要素（線について）	髪型に存在する線的要素の理解し説明できるようになる。	自身が思う点的要素が強い美容写真作品を用意する
第３回	美容造形要素（点）について	髪型に存在する点的要素の理解し説明できるようになる。	自身が思う面的要素が強い美容写真作品を用意する
第４回	美容造形要素（面）	髪型に存在する面的要素の理解し説明できるようになる。	人が存在する印象が深い広告写真を用意する
第５回	美容表現効果について（広告写真を例に）	美容表現にお超える調和とコントラストの表現を知り説明できるようになる。	目について２つ以上の写真を用意する
第６回	顔のパーツの形の理解	顔のパーツの形のもつイメージを知り説明できるようになる。	実際の写真を見て２つ以上描いてくる　　子供と大人の顔写真を準備する
第７回	顔のバランスの理解	顔のバランスを知りそのイメージを理解し説明できるようになる。	顔型がイメージ通り描けるように練習する
第８回	顔と髪型の理解	髪型が顔とそのような関係性があるのかを学び説明できるようになる。	写真１枚を選択し、顔と髪型について分析する
第９回	デッサンによる髪形状の理解	毛髪の形状を描くことができるようになる。	毛髪の形状の違う写真を２枚以上用意し分析する
第１０回	美容デザインのアレンジ	前回描いたデッサンをコラージュなどでアレンジしイメージを変化させることができるようになる。	次回から描く写真を図書館などで選択しておく
第１１回	美容デッサン①デザインの選択	図書館の美容資料から選択した写真から、デッサンの準備を完了させることができる。	自身で美容写真の収集を行う
第１２回	美容デッサン②下書き	デッサンの下書きを完成させ、顔のパーツを完成させることができる。	進み具合では持ち帰り制作を進める
第１３回	美容デッサン③描き込む	毛髪を描き込むことができるようになる。	進み具合では持ち帰り制作を進める
第１４回	美容デッサン④完成させる	コンセプトにあった作品を完成させることができる。	プレゼンテーション原稿の準備
第１５回	美容デッサン⑤展示をする	展示とプレゼンテーションをできるようになる。	展示終了後作品をポートフォリオに収集する